



お施主様へ

FEEL-CL

High-Grade Wool Cushion Tile

メンテナンスマニュアル



ウールカーペットにとって、もっとも重要なメンテナンスが“掃除機によるこまめなバキューミング”です。汚れが生じた場合は、早めのメンテナンスをお願いいたします。

田島ルーフィング株式会社

住建営業部 住建床材担当

〒101-8579 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX南ウイング21階

TEL.03-6837-8900 FAX.03-6837-8905

JU-1FM-2011-1A-0.1-GR

日常メンテナンス (ゴミ・遊び毛等のバキューミング)

目安頻度:施工後3~6ヶ月は毎日、その後週2回(汚れ具合に応じてこまめに)

ウールカーペットにとって、もっとも重要なメンテナンスは掃除機によるこまめなバキューミング

- ・カーペットのタイプに適した掃除機を使ってください。サイクロン式や吸入口にブラシのついた掃除機、粘着カーペットクリーナーをおすすめします。(目安は1㎡あたり20秒)
- ・メンテナンスは髪の毛をやさしくブラッシングする要領で、表面のゴミ・遊び毛をバキューミングしてください。
- ・ご利用開始当初は遊び毛が多く出ます。ウールカーペットは遊び毛を出し続けることにより清潔に保たれます。



【バキューミングの効果】

- ・アレルギーを起こす可能性のある以下の物質も、遊び毛といっしょに取り除くことができます。
 - ①カーペットの汚れの要因のうち80%を占める、浮遊しているホコリ
 - ②ダニが生息する要因であるカーペットにからまった食べカス、髪の毛、フケ
- ・遊び毛が絡みつく前にバキューミングすることで、ピリング(毛玉)を防ぐ効果があります。

【お手入れの際のご注意】

- ・洗剤はウール専用(中性洗剤)のものをご利用ください。
- ・洗剤を使う前に取り除ける汚れは取り除き、汚れが広がるのを防いでください。
- ・特殊な汚れは、汚れの性質に適した措置が必要ですが、基本的にはウールセーターや衣類のしみの取り方に従ってください。
- ・カーペットを激しくこすったり、引っかいたりしないでください。頑固な汚れは完全に取り除くことができなくても、80%くらい落とすことができれば、日々の掃除機によるお手入れで生まれるウールの遊び毛効果により徐々に目立たなくなります。

汚れのひどいときのメンテナンス (スチーム清掃)

ウールの復元、食べこぼし等の頑固な汚れを取るためにスチームクリーナーのご利用をおすすめします。

(スチームクリーナーと同様に、熱いおしぼりなどでの拭き掃除も効果があります。)

汚れの種類	使用するもの				汚れの種類	使用するもの			
	濡れた布	中性洗剤	アルコール・ベンジン	スチームクリーナー		濡れた布	中性洗剤	アルコール・ベンジン	スチームクリーナー
ジュース	○	◎	◎	◎	マヨネーズ	○	◎	◎	◎
牛乳	○	◎	◎	◎	カレー	△	△	△	○
醤油・ソース	△	△	○	◎	チョコレート	△	△	○	○
ワイン	△	△	○	◎	クレヨン	△	△	○	○
コーヒー・紅茶	△	△	△	○	インキ・墨	△	△	○	○
ケチャップ・タバスコ	△	△	○	◎	油性マジック	△	△	○	○
ジャム	○	◎	◎	◎	マニキュア	△	△	○	○
油・バター	○	◎	◎	◎					

試験方法:汚れを付着させたあと乾いた布で拭き取り、その後24時間室温で放置した汚れについて、濡れた布→中性洗剤→アルコール・ベンジン→スチームクリーナーの順で拭き取る。

部分汚れのメンテナンス

部分汚れはパイルに染み込む前に、手早い処置を施すことが大切です。そのためにも、ある程度の道具や薬品を準備しておくことをおすすめします。

道具:ブタ毛の歯ブラシ、スポンジ、ヘラ、タオル、脱脂綿など

薬品:中性洗剤、アルコール、ベンジンなど

部分汚れ除去の手順



①洗剤を使う前に、こそぎ落とせる汚れは取り除いてください。液状の汚れは乾いたタオルなどで押し付けるようにして吸い取ってください。粘りがある汚れや固形状の汚れは、スプーンやヘラなどでこそぎ取ってください。



②ぬるま湯を含ませた白いタオル等で軽く叩き、汚れに水分を移してください。



③洗剤をタオル等に染み込ませ、汚れをつまむように移し取ってください。水で薄めた中性洗剤をブタ毛の歯ブラシにつけてブラッシングするのも有効です。



④ぬるま湯を含ませた布で、洗剤分を取り除いてください。



⑤タオルなど吸水性のよい布で水分を拭き取ってください。最後にドライヤーの温風などで完全に乾かすことをおすすめします。



スチームクリーナーを使ったお手入れもおすすめです。

カーペットのお取り扱い上の注意事項

- ・メンテナンスなどによりカーペットタイルを剥がして復元した場合、毛足が目地の断面に食い込み、目地が目立つ場合があります。千枚通しなどで毛足を起こして均一にしてください。
- ・結露水はパイルを変色させたり、カビを発生させる原因となります。こまめに換気するなど結露を防ぐ工夫をしてください。結露水が発生した場合はすぐに拭き取り、乾かしてください。
- ・長時間直射日光の当たる場所では、パイルが変退色する可能性があります。カーテン、ブラインドで日よけしてください。
- ・防虫剤、殺虫剤、消毒剤、漂白剤、トイレクリーナーなどをパイルに直接散布すると、パイルが変退色することがあります。